

<地域経済・都市開発>

# 都市公共照明の計画策定手順

## A Planning Procedure for Public Lighting

キーワード：都市公共照明，照明計画，策定手順，  
住民ニーズ，ケーススタディ

井内正直 山本公夫

### 1. はじめに

都市の国際化や24時間化等といった時代の流れのなかで、これまで安全・防犯といった機能重視で進められてきた夜間の公共空間における照明が、街の個性の演出や雰囲気づくりといった都市の快適性の観点から見直されるようになってきた<sup>[1]</sup>。しかし、現状を見ると、過剰なネオンや看板が氾濫し明るすぎる地域がある反面、住宅地の街路や公園などの地域住民にとって身近な日常生活空間では、必要最小限の照明はあっても暗く、寂しい雰囲気を漂わせ、暗闇に対する恐怖心をも増長しかねない空間が存在する。このように夜間の公共空間における照明は非常にアンバランスな状態となっている。

そこで、今後快適な夜間環境を形成するためには、ネオンや看板などの過剰な照明の規制・誘導方策や、地域住宅の日常生活空間の照明整備をも考慮にいたした都市全体を対象とした計画的な照明整備が必要となる<sup>[2]</sup>。

当所では、これまで夜間の公共空間における都市アメニティの向上を目指して、都市公共照明の計画とデザインに係わる手法を開発・確立することを目的として研究を進めてきた。そこ

では都市公共空間の夜間環境に対する人々の評価・捉え方を明らかにし<sup>[3]</sup>、照明デザインの方法と効果の関係を定量的に明らかにした<sup>[4]</sup>。

本研究では、照明整備の事例調査、電力会社や自治体等のヒアリング調査及び一般市民を対象とした意識調査の分析結果をもとに、都市全体を対象とした面的な整備を進めるうえで必要となる都市公共照明計画の策定手順について提案することを目的とした。なお紙面の都合上、ここでは都市公共照明の策定手順の内容について述べる。

### 2. 照明計画策定の基本的考え方

図2.1に都市公共照明の計画策定手順の枠組みを示した。策定の際に考慮すべき点は、照明計画の目標設定から実施に至るまで住民のニーズを十分に反映することである。計画策定上の基本的な考え方は、次のとおりである。

#### ①「夜間空間形成の目標を明確にする」

計画目標の設定過程では、都市を特徴づける地形条件や骨格的な都市施設の分布、現状の都市の明かり、夜間における都市活動、多様な地域住民のニーズを十分に反映した上で、照明計画の基本方針や目標を設定する。

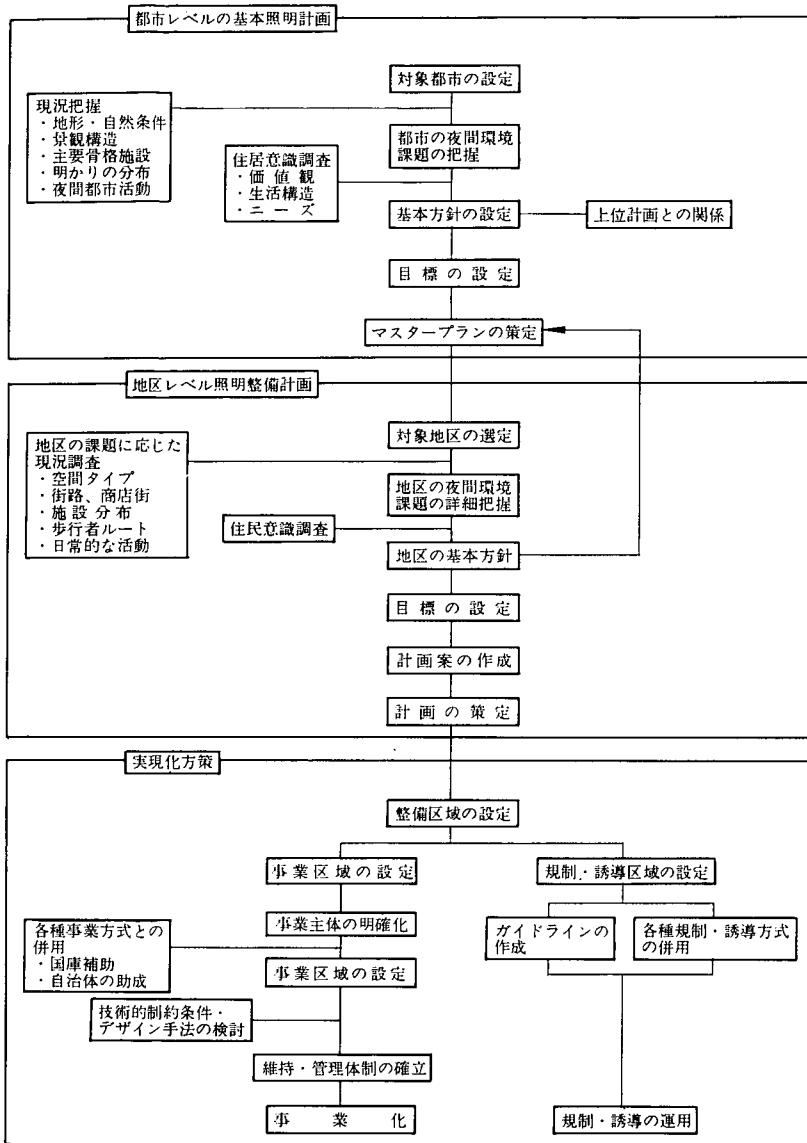


図 2.1 都市公共照明の計画策定手順

②「部分（地区レベル）の自立性を考慮した上で全体との調和を図る」

計画形成・設定過程では都市を対象とした全体計画と、地区を対象とした部分計画がそれぞれ検討される。両者の関係は独立でありながら、しかも相互作用を繰り返して検討が進めることが重要である。ここでの部分計画では、それぞれ空間タイプ別にゾーニングが行われ、

個々の空間ごとに計画目標と具体的な整備計画を検討する。その中で、個々の空間は全体との調和を図りながら自立性を主張し、それぞれの空間の快適性を向上する方向で検討が行われる。

また、全体計画では初めから理想的な夜間の都市像が存在するのではなく、部分計画との相互作用の結果として修正を続け、構築してい

く。このため、全体計画は部分計画を検討する際の目安となるフレーム、ガイドラインとして機能していくことが望ましい<sup>[5]</sup>。

③「適正な実現化を図る」

これまでの制約条件に加えて、部分と全体とのバランスを取る過程での新たな制約条件に配慮して優先順位の設定は行われる。

3. 照明計画の策定手順

都市公共照明計画の策定手順は以下の通りである。なお都市レベルにおける照明計画のマスタープランの策定領域は、各自治体の全行政区画が望ましいと思われる。

3.1 計画目標の設定

照明計画の基本方針や目標は以下の手続きによって設定される。

(1) 現状分析・把握

夜間景観の創造に関係する都市の景観構造や住民の夜間活動を把握するために、地形、構造物、交通機関など都市構造の特徴や地域住民や観光客の夜間空間に対するニーズなどについて詳細に調査する。

(2) 問題点の抽出と計画課題の明確化

夜間都市環境の一般的な問題点は、都市と地区の両レベルで捉えることが重要である。

例えば都市レベルでの具体的な問題点は、

- ・夜間都市としてのイメージの欠如
- ・街全体が暗いため、わかりにくい。
- ・光景にメリハリがなく、均一的
- ・ストーリー性、意図的な演出に欠けるなどがあげられる。

計画課題は、どのような条件下でも概ね普遍的に採用され得るものと、計画地域に係わる各種の条件に支配されてケース・バイ・ケースで採否が判断される個別的なものがある。

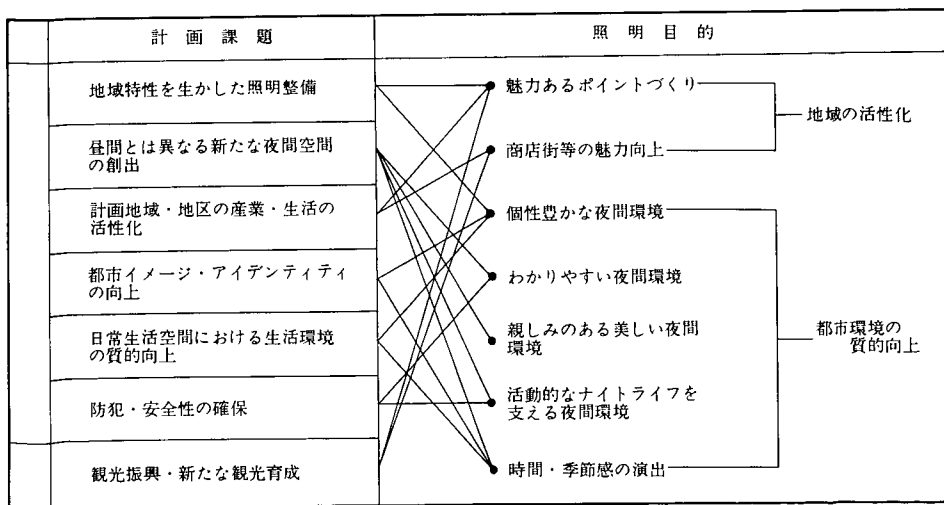
(3) 計画目標の設定

計画の目標は主として、①都心部、商店街などの活性化を図ること、②夜間都市環境の質的向上を図ることに2点があげられる。また、計画地域の目標の設定は計画課題との関連においてなされるものであり、その関係を表3.1に示す。

3.2 計画の形成・設定

これまでの作業を通じて明らかとなった基本

表 3.1 照明目的と計画課題



方針・目標を具体的にしていく作業が計画の形成・設定過程となる。都市レベルと地区レベルの両者の検討作業を通じて、目標を達成する具体的な内容にブレイクダウンしていく。この過程において住民参加を積極的に促す必要がある。

具体化した照明計画の内容は、マスタープランマップとして表現される。図3.1に地区レベルでのマスタープランマップ（浅草地区）の例を示す<sup>[6]</sup>。

### 3.3 計画実現化

策定した計画内容に従い、実現化を図るには実施体制や関連する諸制度の検討まで含めて、照明整備に最も有効な事業方式の選択やネオン・看板等の規制・誘導といった具体的なプロセスを事前に検討しておくことが重要である。

#### (1) 制約条件のチェック

実現化の段階で制約となる条件が生じてくる。そこで以下の点については、事前に検討しておく必要がある。

- ・複数の管理・整備主体者間の調整
- ・昼間の景観の配慮
- ・交通安全対策
- ・生態系への配慮
- ・電源確保
- ・路上施設、路上放置物などを考慮した総合的な配置計画
- ・管理体制の確立

#### (2) 優先順位の決定

昼間の景観形成、基本構想などとの関係に配慮するとともに、実現可能性の高い計画の実施だけでなく、地域住民にとって緊急かつ重要性がある生活空間を対象とした計画についても重視する。

#### (3) 予想イメージ図

照明計画の実施によって創出する個々の空間

のイメージを正確に伝えるために、予想イメージ図を作成することも重要である。ここでは例として図3.2浅草地区オレンジ通りの照明整備後の予想イメージ図を示す。

## 4. おわりに

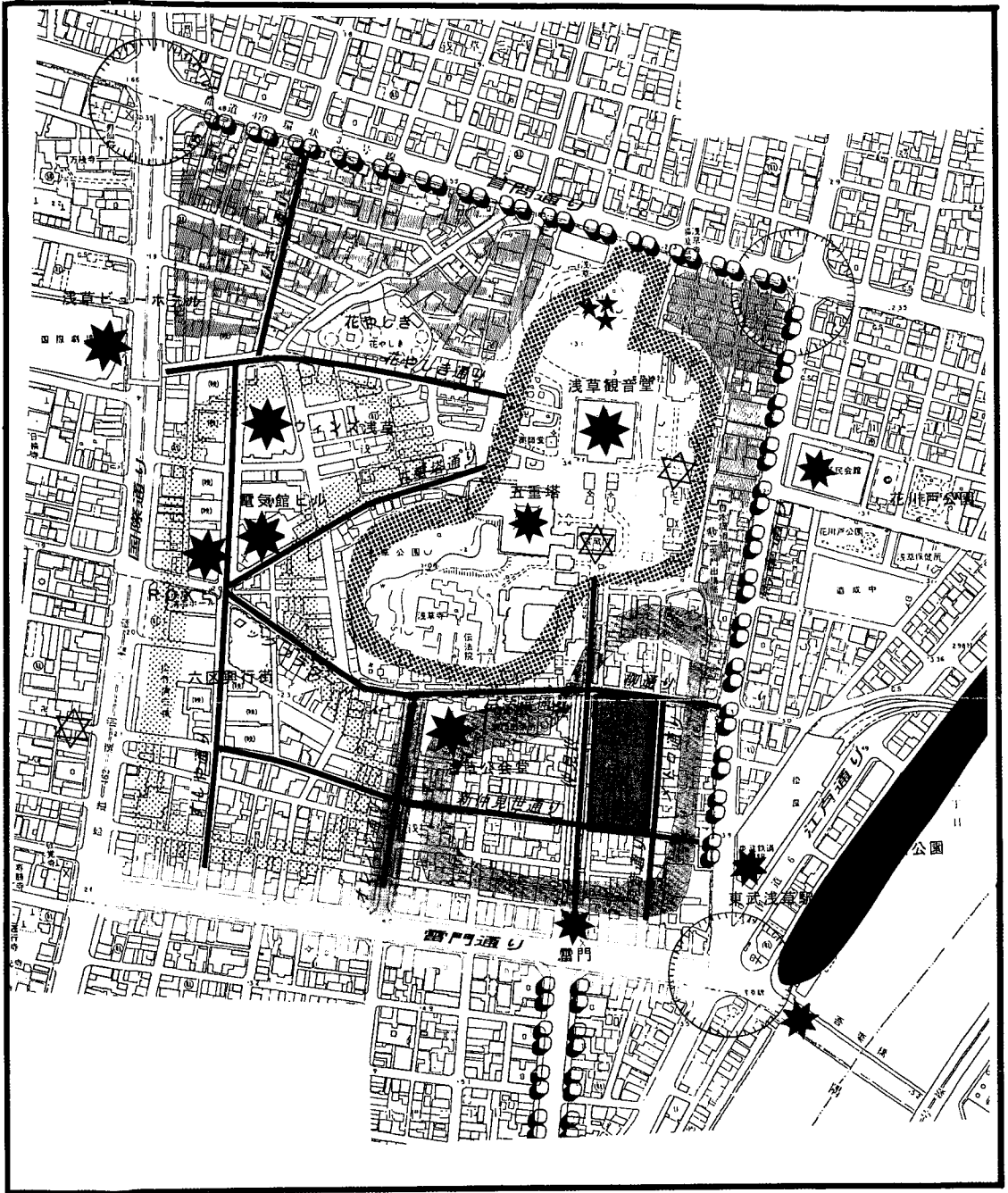
当所では観光施設のライトアップによる観光振興や商業の活性化がおもな目標となっている照明整備を見直し、住民の生活に密着した公共空間の照明をもう一度根底から考えていく取り組みを行ってきた。

今回提案した都市公共照明計画の策定手順を参考に、住民にとって快適でゆとりの感じられる夜間空間を創造していくことが期待される。

#### [引用・参考文献]

- [1] 都市の夜間景観研究会「都市の夜間景観の演出」大成出版社 1990.1
- [2] 石井幹子「環境照明のデザイン」鹿島出版会 1984.5
- [3] 山下葉、山本公夫「夜間の都市公共空間の快適性評価」電力中央研究報告 Y88012, 1988
- [4] 山本公夫「都市公共照明のデザイン」電力中央研究所研究報告 Y88023, 1989
- [5] 福井通「ポストモダンの都市空間」日本建築事務所 1989.3
- [6] 井口典夫、山本公夫「都市開発の将来展望（その1）」電力中央研究所研究報告 Y90008, 1990

( いうち まさなお  
やまもと きみお )  
経済部 社会環境研究室



- |                    |                                 |                         |
|--------------------|---------------------------------|-------------------------|
| ★ : サイトツブ (ランドマーク) | ★ : 樹木のサイトツブ                    | ○ : 下町風 (庶民的な雰囲気)       |
| ☆ : サイトツブ (ファストツブ) | ■ (点線) : モール照明 (現代風)            | ● (点線) : 盛り場・現代的な雰囲気    |
| ■ (黒) : 半地下空間      | ○ (点線) : 通りの対峙を活かした照明           | ■ (斜線) : 歴史を感じる落ちついた雰囲気 |
| ○ (点線) : 交差点の照明    | ■ (黒) : 水辺の照明                   | ■ (斜線) : 江戸町風な雰囲気       |
| ○ (点線) : 歩行者照明     | ○ (点線) : ヒー・マスタートの感じられる照明 (下町風) |                         |

図3.1 照明マスタープランマップ(浅草地区)



図3.2 照明整備後の予想イメージ図(浅草地区オレレンジ通り)